



2003 ITU トライアスロン・ワールドカップ トンヨン大会

レース速報

**女子はローラ・レバック(USA)、男子はクリス・ヒル(AUS)が優勝。
関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本) 6位
平野司(関西大学) 12位**

2003 ITU トライアスロン・ワールドカップ トンヨン大会が、7日(土)、快晴の韓国・統営市でカナダ、アメリカ、オーストラリアをはじめ世界20カ国81名のトライアスリートが参加して行われた。女子はローラ・レバック(USA)が、男子はクリス・ヒル(AUS)が優勝した。

日本勢では、女子が関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)6位。男子は平野司(関西大学)が12位に入った。

女子は、ローラ・レバック(USA)、ジル・サベージ(CAN)、マキシン・セア(AUS)の3人がスイムで飛び出したものの、すぐに15名の集団を形成。5周回目で8人が抜け出し、第2集団と1分30秒差をつけバイクフィニッシュした。ランではローラ・レバック、ラドバ・レンカ(CZE)、エマ・スノーシル(AUS)、リス・ブラッチフォード(AUS)の4人が激しいトップ争いを繰り広げたが、最後のスプリントでみごとローラ・レバックが優勝を飾った。関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)は、スイムでのおくれたもののバイクでねばり、得意のランで中西真知子(NTT 東日本・NTT 西日本)をはなし、入賞を果たした。

男子は、スイムで平野司(関西大学)が2位以下と20秒の差をつけフィニッシュ。バイクはクリス・ヒル(AUS)、クリス・ゲメル(NZL)を含む13名の集団となり、第2集団との差を2分以上と突き放した。30分台のランスプリントを記録したグレッグ・ベネット(AUS)の追い上げも及ばず、クリス・ヒルが初の韓国でのワールドカップを制した。また平野もランでねばり、自己最高位を記録した。

気象状況: 気温 22.4 度、水温 20.5 度、風速 1.7m 風向き南

お問い合わせ先

(社)日本トライアスロン連合 事務局 (広報担当)

TEL: 03-5469-5401 FAX: 03-5469-5403

